

2021年3月15日 第366号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
<http://www.kyodo-center.jp> mail: move@zenroren.gr.jp

総がかり行動実行委員会・ウィメンズアクション

ジェンダー平等な社会の実現を

国民のいのち・くらし守るための政治に転換させよう！

総がかり行動実行委員会・ウィメンズアクションが3月12日夕、有楽町・マリオン前で行われました。東京五輪・パラリンピック組織委員会の森前会長の女性差別発言から、男女差別をはじめとする日本社会の根深い差別構造が明らかになっています。ジェンダー平等な社会を実現するため、声をあげ続けましょう。



日本共産党の藤野保史衆議院議員が参加し、「コロナの新規感染者が減少してきた今こそPCR検査を大規模に実施し、変異株のモニタリング調査を抜本的に増やすことが重要。医療・介護などの現場でがんばっているみなさんのために、せめて医療機関などの赤字や減収を政府が負担すべきではないか」と訴えました。

全教の山本乃里子さん(写真)は、「この1年間、『不要・不急のことは控える』ということのみなが我慢し、感染予防に努めてきた。政府はお願いばかり。学校生活においても子どもたちに我慢を強いてきた。政治が決断することでできることは多く、収入減の中小業者への支援、医療の人手不足への支援、学校での安全・安心対策などは実現できる」と指摘しました。「軍事費は過去最高で、米軍への思いやり予算もある。そして法人税は減税するとは、政府は米軍や大企業に甘すぎないか。今年は総選挙がある年。国民のいのちとくらしを守るための政治に変えることが重要。ジェンダー平等、誰もが対等平等で互いを尊重し支え合える社会、私たちの声が届く政治を実現させよう」と呼びかけました。

当面の行動

3月18日(木) 総がかり行動 街頭宣伝 18時～ 新宿駅西口

3月19日(金) 総がかり行動 19日行動 18時～ 国会議員会館前